
ジャンク大帝を研究

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ジャンク大帝を研究

【Nコード】

N9363Z

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

ジャンル大帝を再読感じた色々。

ふと、手塚先生の「ジャンク大帝」を研究してみる。

まず、気になるのは、古い画風と新しい画風が混在してるとこ。

手塚先生は気に入らないとすぐに描き直す癖があった。星新一が浮かぶ。星師匠も、作品が古びるのをいやがって、時代に合わせて改稿してる。

それから、1ページのコマ数がかつ多いところ。これは昔のマンガが月刊雑誌に連載4ページとか8ページだったことと関係してる。これは永山則夫が浮かんだ。永山は改行がまったくない長編を出版したことがある。永山は刑務所作家だから異端児。改行の多い作品になれた現代の読者には読みにくい、昔の読者は割と読めるかも。そういうのに慣れてる。

そして、愉快的画風とシリアスなストーリーの対比。手塚先生は児童漫画家だから、画風がコミカル。ただ、文学を意識し、物語に悲劇的要素を導入。これは、筒井康隆が浮かんだ。筒井師匠の場合は、愉快的イメージと硬派な文体。筒井師匠はドタバタが得意だから、浮かぶ絵はコミカル。けど、文体が硬質。ヘミングウェイの影響か。愉快的ストーリーが硬い文体によって浮き上がる構造。ビートルズも対位法をやってる。メロディがドレミファソラシドと上昇する裏でベースをドシラソファミレドと下降させ立体的にする。

あとは、スターシステム。手塚マンガは映画俳優みたいに、同じキャラクターが違う役でいろんな作品に出演する。少し違うがバルザックが浮かぶ。再登場技法。例えばある小説で、少年たけしを出す。そしてまた別の長編で、中年になったたけしを出す。そういうんをバルザックはやってる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9363z/>

ジャンク大帝を研究

2011年12月29日10時50分発行